

とりもどせ清流

エコ環境都市を目指して

あなたはごみを川に捨てていませんか？

私たちの目の前を流れる九頭竜川は福井県を代表する清流であり、その流域に住む人々にとって昔からの憩いの場であり、各種生物の大事な生息場所となっています。

しかし、捨てられたごみにより、河川の水質が悪化するだけでなく、水辺に暮らす生き物や景観などに大きな悪影響を与え、さらには、下流の人たちの生活にも重大な影響を与えています。

現在、全国では河口や海岸での大量

の「漂流・漂着ごみ」による環境汚染が問題となっています。漂流・漂着ごみの約8割は河川を通じて海に流れ込む陸域からのごみであり、また、プラスチック



河川敷や海岸線には、多くのプラスチックごみなどが打ちあげられています

ごみが大半を占めていることから、これは河川流域に住む全員の実任でもありません。

また、勝山流域でも、一見清流に見える九頭竜川も、岩陰や樹木の間にはプラスチックごみやビニールごみが多量あり、また、市内を流れる河川にもごみが多数見られます。

勝山市では中学生による河川清掃や、青年会議所を中心とした「クリーンアップ九頭竜川」による清掃活動、「かつやまをきれいにする運動」など市民による市内河川の清掃などが行われていますが、それでも毎年多量のごみが集められています。

現在、九頭竜川流域の民間団体が九頭竜川の環境への連携した取り組みを目指しています。一人が捨てたごみも、集まれば多量のごみとなります。自分

だけがよければという考えではなく、一人ひとりがもう一度ごみ問題を考えてみてください。

問 生活環境課 ☎88-8104

賞状を手にする林理事長



昨年の「クリーンアップ九頭竜川」の様子

環境大臣表彰を受賞

社団法人 勝山青年会議所

2月2日、社団法人勝山青年会議所が「循環・共生・参加まちづくり表彰」において環境大臣表彰を受けました。

この表彰は、多岐にわたる地域の課題を視野に入れ、住民・企業などとの協働を図りながら、環境の恵み豊かな持続可能なまちづくりにおいて特に顕著な実績をあげている団体に表彰されるものです。

(社)勝山青年会議所は、「エコミュージアムによるまちづくり」のもと、市への政策提言を行うとともに、子どもたちを対象とした地域参加型の環境学習事業や市民・企業などと連携した九頭竜川清掃活動など、これまで積極的に取り組んできたことなどが評価されました。

今回の受賞について林 昭理事長は、「エコミュージアムによるまちづくりとして、市全体で取り組んできた賞。」と話されました。そして、「九頭竜川清掃活動は、できることから始まった活動ですが、これからはごみを捨てない、出さない活動へとしていきたい。」との抱負も語ってくれました。

演劇は大好き！



勝山南高等学校演劇部の皆さん

勝山南高等学校演劇部

りもはるかに〜」は、廃校になった小学校の元同級生たちが、恐竜化石の発見などをきっかけに友情を取り戻すという物語となっており、「会話のキャッチボールがスムーズにできるまで、みんなで協力して練習しました。」と一生懸命に練習に励んだことも語ってくれました。

顧問の川村信治先生は、「人間関係を理想的なものにしよ〜うと等距離の関係を保ち、個人の力を高めよう」と意識して取り組んできました。」と、これまでの苦労を振り返りま

した。

全国大会出場にあたっては、「中部ブロック約300校の代表となった責任にプレッシャーを感じますが、とにかく初出場なので楽しんで演技をしたいと思います。」と意気込みを語り、さらに演劇についてコメントを求めると、「大好き〜」と皆さんにこやかに応えてくれました。

昨年12月23日から26日まで石川県野々市町で開催された第61回中部日本高等学校演劇大会で、勝山南高等学校演劇部が最高賞の文部科学大臣賞を受賞しました。今回の受賞は、県内の高校としては27年ぶり3校目の快挙で、同校演劇部は、7月31日から三重県四日市市で開催される全国大会に中部ブロック代表として出場することになります。受賞の感想を聞くと、「うれしいですが、まずは大変驚きました。」と皆さんからは同じ応えが返ってきました。演じた作品「化石〜あなたが思うよ

わたしがみらいにのりたいくるま

森石

琳さん(7) 荒土町北宮地

が大好きとのこと。

作品は、緑豊かな景色の中に自分の家があり、家の前には、以前都会で見た立体に交差する道路があつて、ネズミの形をした自分の車とバスなどいろいろな車が行き交う様子を描いたとのこと。 「花や草、空を描くのが難しかったけれど、一生懸命に描いたので思ったとおりの絵ができました。」と笑顔で話してくれました。

受賞作品は、2月に科学技術館(東京)で展示されるため、残念ながら現在手元にはありませんが、本当に楽しそうな作品に仕上がっています。



作品(コピー)を手にとり受賞を喜ぶ森石 琳さん

学校での好きな科目を聞くと「もちろん図工です。」と元気な応えが返ってきました。そして、今後の抱負は「大好きな車を一度運転してみたい。」とのことでした。

出会い ふれあい